

栄 さかえ小 ニュースレター

4年生 出前授業「水質調査」

2月12日（水）に、茨城県霞ヶ浦環境科学センターの職員をゲストティーチャーに迎え、4年生を対象にした「水質調査」の出前授業を行いました。この授業では、霞ヶ浦の水、桜川の水、そして1万倍に薄めた醤油の3種類を用いて、基本的な水質調査の方法を学びました。

五感を使った色やにおいの観察では、同じ透明な水であってもそれぞれに異なる特徴があり、子供たちは「霞ヶ浦の水はうす緑色をしている」「桜川の水は土のにおいがする」などと言いながら、目や鼻を使って熱心に違いを確かめていました。透視度の測定では、初めて扱うガラス器具に少し戸惑う様子も見られましたが、友達と協力しながら円盤に描かれた十字マークが見えた位置を正確に記録することができました。最後は、パックテストを用いてCOD（化学的酸素要求量）の測定を行いました。CODは、水中の有機物の量を調べるもので、結果の数値が高いほど水質が汚れていることを意味します。子供たちの予想では、霞ヶ浦や桜川の水が一番汚れていると思っていたようですが、実際には見た目が最もきれいな1万倍に薄めた醤油が最も高いCOD値を示していたことに、とても驚いているようでした。そして、「透明だからきれいとは限らないんだ！」「本当に水が汚れているかどうかは、調べてみないと分からないんだね」と、科学的に検証することの大切さを実感している様子でした。

学習のまとめでは、講師の先生から「自然にとって最も大きな影響を与えているのは、私たちの生活排水である」とのお話がありました。子供たちは、自分たちの生活が自然環境に及ぼす影響について深く考え、「水を汚さないためにできることは何だろう？」と真剣に考えていました。

今回の授業を通して、子供たちは水質についての理解を深めるとともに、自分たちの行動が環境に与える影響について考える大切な時間を持つことができました。今後も、水を大切にし、自然に優しい生活を心がけてほしいと思います。



休み時間の避難訓練

2月19日（水）に、地震を想定した避難訓練を実施しました。今回は、子供たちの対応力を確認するため、事前指導では避難時の基本的な注意事項のみを伝え、発生時刻を知らせずに行いました。

昼休み中、突然放送が流れると、子供たちは少し驚いた表情を見せました。しかし、近くにいた教師の指示を聞いたり、素早く行動する友達の様子を見たりしながら、冷静に行動を開始しました。グラウンドで遊んでいた子は広い場所へ移動し、教室にいた子は机の下にもぐるなど、それぞれの状況に応じて適切な対応を取ることができました。その後、避難指示が出ると、子供たちは速やかにグラウンドへ避難し、整然と集合することができました。

訓練後の振り返りでは、「最初は驚いたけれど、放送を聞いてすぐに動けた」「友達と声をかけ合って避難できた」などの感想が聞かれました。一方で、「避難経路を迷ってしまった」「もう少し素早く行動できるようにしたい」といった反省の声もありました。いつ起こるかわからない災害に備え、今回の訓練で学んだことを活かし、さらに安全な避難行動がとれるよう、今後も防災意識を高めていきたいと思います。

